

令和6年度子ども図書研究室講演会

「日本の読者に届けたい翻訳文学」紹介図書一覧 講師：三辺律子氏

※刊行年後ろの☆は当館貸出可能資料、★館内閲覧資料です。

『黄色い目の魚』佐藤多佳子／作 新潮社 2005.1

『カラフル』森絵都／作 文藝春秋 2007.9 ☆

『バッテリー』あさのあつこ／作 角川書店 2003.12 ☆※教育画劇刊あり

◆児童文学の誕生

『〈子供〉の誕生 アンシャン・レジーム期の子供と家族生活』フィリップ・アリエス／著杉山光信／訳 みすず書房 1980.12 ☆

『水の子どもたち 上 陸の子どものための妖精の物語』キングズリー／作 芹生一／訳偕成社 1996.6

『水の子どもたち 下 陸の子どものための妖精の物語』キングズリー／作 芹生一／訳 偕成社 1996.6

『不思議の国のアリス』レイス・キャロル／著 河合祥一郎／訳 角川書店 2010.2 ☆岩波書店、脇明子訳あり

『北風のうしろの国』ジョージ・マクドナルド／作 脇 明子／訳 岩波書店 2015.1 ☆

◆若者の誕生

『ライ麦畑でつかまえて』J・D サリンジャー／著 野崎孝一／訳 白水Uブックス 1984.5 ☆

『アウトサイダーズ』スーザン・E・ヒートン／作 清水真砂子／訳 大和書房 1983.5

『神さま、わたしマーガレットです』ジュディ・ブルーム／作 長田敏子／訳 偕成社 1982.1

『指輪物語 旅の仲間』J・R・R・トールキン／著 瀬田 貞二／訳 評論社 1992.3 ☆

『指輪物語 二つの塔』J・R・R・トールキン／著 瀬田 貞二／訳 評論社 1992.3 ☆

『指輪物語 王の帰還』J・R・R・トールキン／著 瀬田 貞二／訳 評論社 1992.3 ☆

◆ハリー・ポッターの誕生

『ハリー・ポッターと賢者の石』J.K.ローリング／作 松岡 佑子／訳 静山社 1999.12 ☆

『サブリエル 冥界の扉 古王国記』ガス・ニクス／作 原田 勝／訳 主婦の友社 2002.11 ☆

『パーティミアス サマルカンドの秘宝』ジョナサン・ストラウド／作 金原 瑞人／訳 理論社 2003.12 ☆

『ダレン・シャン 奇怪なサーカス』Darren Shan／著 橋本 恵／訳 小学館 2001.7 ★

『ルイスと不思議の時計』ジョン・ベレアーズ／作 三辺 律子／訳 静山社 2020.2 ★

◆PARANPRMAL FICTION

『シャドウハンター 骨の街』カサンドラ・クレア／著 杉本 詠美／訳 東京創元社 2011.4

『トワイライト』メイヤー・ステファニー／著 小原亜美／訳 ヴィレッジブックス 2008.4

『ヴァンパイアアカデミー』リシェル・ミード／著 中村有以／訳 ソフトバンククリエイティブ 2009.12

◆DYSTOPIAN FICTION

『メイズ・ランナー』ジェイムズ・ダシュナー／著 内田志文／訳 角川書店 2015.4

『ダイバージェント 異端者』ベロニカ・ロス／著 河井直子／訳角川書店 2014.5

『ハンガー・ゲーム』スーザン・コリンズ／著 河井直子／訳 角川書店 2012.7 ★メディアファクトリー刊あり

『フィフス・ウェイヴ』リック・ヤンシー／著 安野玲／訳 集英社 2016.3

◆CONTEMPORARY FICTION

『さよならを待つふたりのために』ジョン・グリーン／作 金原 瑞人／訳 岩波書店 2013.7 ☆

『ぼくとあいつと瀕死の彼女』ジェス・アンドルーズ／著 金原 瑞人／訳 ポプラ社 2017.8

『ミアの選択』ゲイル・フォアマン／著 三辺 律子／訳 小学館 2009.11 ★

◆LGBTQIA+

『ウィル・グレイソン, ウィル・グレイソン』ジョン・グリーン／作 デイヴィッド・レヴィサン／作 金原 瑞人／訳 井上 里／訳 岩波書店 2017.3 ☆

『サイモン vs 人類平等化計画』ベッキー・アルバータリ／作 三辺 律子／訳 岩波書店 2017.7 ☆

『君に太陽を』ジャンディ・ネルソン／著 三辺 律子／訳 集英社 2016.11 ☆

『二つの旅の終わりに』エイダン・チェンバーズ／作 原田勝／訳 徳間書店 2003.9 ☆

『ウィーツイ・バット』フランチェスカ・リアブロック／著 金原 瑞人／訳 東京創元社 2002.7

『オン・ザ・カム・アップ』アンジー・トーマス／作 服部理佳／訳 岩崎書店 2020.12 ☆

『夜フクロウとドックフィッシュ』ホリー・ゴールドバーグ・スローン／作 メグ・ウォリッツァー／作 三辺 律子／訳 小学館 2020.7 ☆

『塚森裕太がログアウトしたら』浅原ナオト／著 幻冬舎 2020.1

『ジョージと秘密のメリッサ』アレックス・ジノ／作 島村浩子／訳 偕成社 2016.12 ☆

『パンツ・プロジェクト』キャット・クラーク／著 三辺 律子／訳 あすなろ書房 2017.10 ☆
『ぼくがスカートをはく日』エイミ・ポロンスキー／著 西田 佳子／訳 学研プラス 2018.8 ☆
『兄の名はジェシカ』ジョン・ボイン／著 原田 勝／訳 あすなろ書房 2020.4 ☆
『恋せぬふたり』吉田 恵里香／著 NHK 出版 2022.4

◆BLM

『ザ・ヘイト・ユー・ギヴ あなたがくれた憎しみ』アンジー・トーマス／作 服部理佳／訳 岩崎書店 2018.3 ☆
『MARCH 1 非暴力の闘い』ジョン・ルイス /アンドリュー・アイディン／作 押野 素子／訳 岩波書店 2018.3
『オン・ザ・カム・アップ いま、這いあがるとき』アンジー・トーマス／作 服部 理佳／訳 岩崎書店 2020.12 ☆
『オール・アメリカン・ボーイズ』ジェイソン・レノルズ／著 ブレンダン・カイリー／著 中野 怜奈／訳 偕成社 2020.12 ★

◆NOVELS-IN-VERSE BOOKS

『エレベーター』ジェイソン・レナルズ／著 青木千鶴／訳 早川書房 2019.8
『わたしの全てのわたしたち』サラ・クロッサン／著 最果タヒ／訳 金原瑞人／訳 ハーパーコリンズ・ジャパン 2020.6 ☆
『タフィー』サラ・クロッサン／作 三辺 律子／訳 岩波書店 2021.10 ☆
『詩人になりたいわたしX』エリザベス・アセヴェド／作 田中 亜希子／訳 小学館 2021.1 ☆
『クロスオーバー』クワミ・アレグザンダー／作 原田 勝／訳 岩波書店 2023.7 ☆
『僕たちは星屑でできている』マンジート・マン／作 長友 恵子／訳 岩波書店 2024.1 ☆
『わたしは夢を見つづける』ジャクリーン・ウッドソン／作さくま ゆみこ／訳 小学館 2021.8 ☆

◆FEMINISM

『嘘の木』 フランシス・ハーディング／著 児玉敦子／訳 東京創元社 2022.5
『ダーウィンと出会った夏』ジャクリーン・ケリー／作 斎藤 倫子／訳 ほるぷ出版 2011.7 ☆
『ザリガニの鳴くところ』ディーリア・オーエンズ／著 友廣純／訳 早川書房 2020.3
『リーゼ・マイトナー』マリッサ・モス／著 中井川 玲子／訳 岩波書店 2024.3 ★
『詩人になりたいわたしX』エリザベス・アセヴェド／作 田中 亜希子／訳 小学館 2021.1 ☆
『はなしをきいて』マギー・ホーン／著 三辺 律子／訳 理論社 2020.4.5 ☆

『かわいい子ランキング』ブリジット・ヤング／作 三辺 律子／訳 ほるぷ出版 2022.8 ☆

◆IMMIGRANT

『ダリウスは今日も生きづらい』アディーブ・コラム／著 三辺 律子／訳 集英社 2020.12 ☆

『路上のストライカー』マイケル・ウィリアムズ／作 さくま ゆみこ／訳 岩波書店 2013.12 ☆

『ぼくたちは幽霊じゃない』ファブリツィオ・ガッティ／作 関口 英子／訳 岩波書店 2018.11 ☆

『やさしい猫』中島京子／著 中央公論新社 2021.8

『パチンコ 上』ミン・ジン・リー／著 池田 真紀子／訳 文藝春秋 2020.7

『パチンコ 下』ミン・ジン・リー／著 池田 真紀子／訳 文藝春秋 2020.7

『草花とよばれた少女』シンシア・カドハタ／著 代田 亜香子／訳 白水社 2006.5 ☆

『トラからぬすんだ物語』テェ・ケラー／作 こだま ともこ／訳 評論社 2022.6 ☆

『アンナはいつか蝶のように羽ばたく』ウェイ・チム／著 山本真奈美／訳 冬木恵子／訳 アストラハウス 2023.3

『アメリカン・ボーン・チャイニーズ』ジーン・ルエン・ヤン／作 椎名 ゆかり／訳 花伝社 2020.2

『アンダー、サンダー、テンダー』チョン セラン／著 吉川 凧／訳 CUON 2015.7

『保健室のアン・ウニョン先生』チョン・セラン／著 斎藤 真理子／訳 亜紀書房 2020.3

『となりのヨンヒさん』チョン・ソヨン／著 吉川 凧／訳 集英社 2019.12

『雪を待つ』ラシャムジャ／著 星 泉／訳 勉誠社 2020.11

『しかばねの物語 チベットのむかしばなし』星 泉／編訳 蔵西／絵 のら書 2023.9 ★

『白い鶴よ、翼を貸しておくれ』ツェワン・イシェ・ペンバ／著 星 泉／訳 書肆侃侃房 2020.1

◆GRAPHIC NOVEL

『スピン』ティリー・ウォルデン／著 有澤真庭／訳 河出書房新社 2018.2

『ローラ・ディーンにふりまわされてる』マリコ・タマキ／作 ローズマリー・ヴァレロ・オコーネル／画 三辺 律子／訳 岩波書店 2023.5 ☆

『ナタンと呼んで』カトリーヌ カストロ／原作 カンタン ズウティオン／イラスト 原 正人／訳 花伝社 2019.4

『キュロテ 世界の偉大な15人の女性たち』ペネロープ・バジャー／著 関澄かおる／訳 DU BOOKS 2017.10

『禁断の果実 女性の身体と性のタブー』リーヴ・ストロームクヴィスト／作 相川千尋／訳 花伝社 2018.12

『好きな人ができたら、どうする？』アンネッテ・ヘアツォーク／著 枇谷玲子／訳 晶文社 2019.9 ★

『未来のアラブ人—中東の子ども時代(1978—1984)』リアド サトゥフ／作 鶴野 孝紀／訳 花伝社 2019.9
『バスキア 光と影の 27 年』パオロ・パリージ／作 栗原 俊秀／ディエゴ・マルティーナ／訳 花伝社 2023.8
『亀裂 —欧州国境と難民』ギジェルモ アブリル／文 カルロス スポットルノ／写真 上野貴彦／訳 花伝社 2019.5
『台湾の少年 —統治時代生まれ』游 珮芸／作 周 見信／作 倉本 知明／訳 岩波書店 2022.7
『チャイニーズ・ライフ 上巻 激動の中国を生きたある中国人画家の物語』李昆武／著 フィリップ・オティエ／著 野嶋 剛／訳 明石書店 2013.12
『原爆 科学者たちは何を夢見たのか 上』ディディエ・アルカント L.-F.ボレ／脚本 ドゥニ・ロディエ／絵 大西 愛子／訳 平凡社 2023.7
『原爆 科学者たちは何を夢見たのか 下』ディディエ・アルカント L.-F.ボレ／脚本 ドゥニ・ロディエ／絵 大西 愛子／訳 平凡社 2023.7
『トンネル』ルトウ・モダン／作 バヴァ／訳 サウザンブックス 2024.7
『カデギ 物流倉庫でミックスコーヒーをがぶ飲みしながら働いた話』イ ジョンチョル／作 印 イェニ／訳 ころから 2023.7
『見えない違い 私はアスペルガー』ジュリー・ダシェ／原作 マドモワゼル・カロリーヌ／作画／作 原 正人／訳 花伝社 2018.8
『ポリーナ』バスティアン・ヴィヴェス／著 原 正人／訳 小学館集英社プロダクション 2014.2
『バクちゃん』[全2巻] 増村十七／著 KADOKAWA 2020.5
『サトコとナダ』[全4巻] ユペチカ／著 西森 マリー／監修 星海社 2017.7

(文責:静岡県立中央図書館資料課)